



有香 六
 徳好

特別
 A5
 6673
 90
 早稲田大学図書館



安永六丁酉

歳旦

家族并孫ひびうら
まきのみよくーい
しん

子孫

福をまをりしる先初ん 如草

ひびく起出の福草 東明

初来や門の柳むさう 池端

初明や人あくるさる一羽 紀左



梅の香るに似て神小人の家の鳴 和夕

汲るる水も清くも水も清く 翠山

夕暮の空も清くも水も清く 里見

空を渡る人もあやうし 和精 宇曲

門前の海もやうも清くも水も清く 松菊

書初やむくも清くも水も清く 文孝

船も清くも水も清くも水も清く 可来

清くも水も清くも水も清く

清くも水も清くも水も清く

清くも水も清くも水も清く

清くも水も清くも水も清く

清くも水も清くも水も清く

清くも水も清くも水も清く 一三紅

清くも水も清くも水も清く

要紙史舎

申と千尾

静走もと来れ色もあつたやこの
物りし千とせもせのよ 山社子
情一情りてこち南の林徳を
思ひやんく

涼く鼓

東明

こゝろこも神の鳥かたの柳

作くさうもよちも清浄 三紅

まじおきもあつたのふこはなで 玉徳坊

あつたもの迎ふ月てよる 里徳

はらふも小月のはなつり 宇曲

ねどーの声鈴也れあ 文孝

はらふもこゝろあつたの柳かた 松朝

まじおのあつたあつたの柳かた 唯山

時鐘七折あつたの柳かた 如蘭

情一情りてこち南の林徳を 可牙

情一情りてこち南の林徳を 和夕

情一情りてこち南の林徳を 紀友

情一情りてこち南の林徳を 地境

情一情りてこち南の林徳を 守

古短一首一歌

